



道 第 1337 号
平成20年10月24日

国土交通省道路局長 殿

神栖市長 保 立 一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

うえのことについて、平成20年9月19日付 国道企第37号で御依頼のありましたことについて、別紙のとおり意見・提案をいたしますので宜しくお願い申し上げます。

記

- 1 今後の道路行政についての意見・提案
 - ① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案
 - ② -1 地域の現状と抱える課題
 - ② -2 地域の目指すべき将来像

以上

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県神栖市

東関東自動車道成田・潮来間の道路照明設置要望

成田インター、潮来間は急に照明がなくなり真暗である。同様設置が望めないのであれば距離をおいての設置を望む。

国道124号の6車線化と交通管理システムの充実

鹿島港・鹿島臨海工業地帯の主要幹線道路は年々交通量が増大し朝夕における慢性的な交通渋滞が起きていることから6車線化の必要性和交通管理システムの充実による渋滞緩和が望まれる。

国道管理の充実

国道の維持管理が重要であることから、大雨時の道路雨水排水のための管理並びに大型車両通過が多いことから道路の凸凹・わだちの早期発見・早期改修等管理部分の充実を図りたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

茨城県神栖市

○現状	○課題
1. 国道124号の鹿島臨海工業地帯への通勤・退社時の慢性的渋滞。 2. ゲリラ豪雨時の国道124号冠水による通行不能の解消。 3. 大型車両の通行による道路舗装の損傷・損壊の発生。	1. 交通渋滞解消のためには道路車線を増やすことと交通管理システムの充実により緩和できるものと思われる。 2. 神栖市内は関東平野を代表する平坦な地形であることからゲリラ的集中豪雨時、自然流出では対応不可能となることから流末での強制排水が必要となる。 3. 交差点付近での車両停止・発進等により道路にわだちが起きることから、オートバイ等の走行が危険である。又、損傷・損壊も多く見られることから道路監視パトロールの強化が必要と思われる。

今後の道路行政についての意見・提案

②-2 地域の目指すべき将来像

重点事項			
総合的な交通安全 対策及び危機管理 の強化	道路管理システムの構築	慢性的な渋滞緩和と非常災害時の交通管理システムによる避難路の確保	
美しい景観の道路 づくり	無電柱化の促進 インターロッキング道路の整備	市内主要道路部分を無電柱化・インターロッキング道路にすることにより、美しい街づくりに寄与することと、無電柱化にすることにより、台風等による電柱・電線損壊被害を少なくすることができると。	